

2. “漢字は難しい”へ反論すると

漢字は世界で一番字画が少ない

漢字は、字数が、かなやローマ字に比べると、非常に多いので、だれでも大変

だと思っているようです。しかし、漢字は、文字であると同時に、語でもあるのです。例えば、「山・川・花・月……」という漢字は、英語の「mountain, river, flower, moon」という語に当ります。ですから、漢字の字数の多いのは当然のことです。

英語の場合、アルファベットだけ覚えてもなんにもなりません。一つ一つ、言葉の綴りを学ばなければなりません。ですから、同じ文字という名が付くからといって、まったく働きの違う漢字とローマ字とを、そのまま文字として比べるのは、誤りです。

漢字の場合、アルファベットに当るものは、「字画」です。「山・川・花・月」が、アルファベットです。とすれば、漢字は、世界で一番、字画が少ない、と言うことができます。つまり、

(語)

(文字)

mountain

m·o·u·n·t·a·i·n

=

山

丨·丨·一·丨

river

r·i·v·e·r

=

川

丨·丨·丨

上のような関係になり、漢字は決して難しくない、ということが言えます。

漢字が複雑に見えるわけ

また漢字には、字形が複雑だ、という非難があります。しかし、これも、漢字が語であるということを考えますと、

この非難は間違いであることが判ります。例えば、

東
=
east

木・日
e·a·s·t

果
=
fruit

木・田()
f·r·u·i·t

このように比べてみますと、漢字の字形が複雑であるというのは、やはり、漢字を語として考えないところから起った非難だということが、よく判ります。

漢字は、どんなに複雑に見えるものでも、簡単な部品が組合せられて、出来上っています。ただそれが、英語の場合には、同じ方向に次々と並べられていきますが、漢字は、重ねたり、上下左右に並べたりしますので、複雑に見えるのです。例えば、東は、木に日が重なっていて、太陽の出る方角を表していますし、果は、木の上に実(田 =)を載せて、「木になる実」を表しています。

もっと複雑な例を挙げますと、整という字は、束(木と口)と (ノと又)と正(一と止)の三つの部品が、左右上下の組合せになっており、その三つは、それぞれさらに二つに分けることができます。

このように漢字は、複雑なように見えても、分解すると、簡単な、ありふれた形の集りに過ぎないのです。

難しく思ふな

私は小学生の頃、徒競走に出て、一度も入賞したことはありません。一年生の時から、小学校を卒業するまで、毎年、出場しているのですが、五、六人ぐらいで走って、三等までに入ることが、どうしても出来ませんでした。

しかし、それは、今にして思えば、私の実力がそうさせたのではなくて、「自分はだめなんだ。自分なんかに入賞できるはずはないのだ」という気持があって、人と張合って駆ける、力を出し切って駆けることをしなかったためだと思っています。

なぜかと言いますと、中学に入ると、最初の運動会で、どうしたことが一着になり、それが機会で自信が付くと、たちまちクラス代表の選

手になり、しまいには、学校代表の選手にまでなったのですから…

…。

つまり、私が、小学生の時、一度も入賞できなかったのは、私の足が本当に遅いためではなくて、「自分は遅いのだ」という気持が、私の足を実際に遅くさせていた、ということになるのです。

遅いと思う気持が、足を遅くするように、難しいと思う気持は、易しいことをも、難しいものに思込ませるものです。

今まで考えてきましたように、漢字には、難しいと思われやすい点がいくつかあります。「漢字は覚えにくい」「漢字は字数が多すぎる」「漢字は字形が複雑だ」これらの見方は、先に述べたように、すべて皮相の見方であり、間違っていますが、よほど深く考えないと、迷わされてしまいます。そして、「漢字は難しい」と信じ込んでしまいます。

さあ、そうなったら大変です。どんなに易しい漢字だって、難しく思えてきます。

コラム

部首 戠

音と戈(ぎ)で地上に立てた目じるしにする木の枝の象形で“しるし”の意味の部首)との会意形声字。“境界をはっきりと示すために設けられた、国境であることを明書した碑の類”を言う。部首としては、“物事を明瞭に区別する”こと。

【職】 “耳で、物事をはっきりと聞き分ける”ことが本義。これは(民の声を聞くこと)で、役人として最も大切な“仕事”なので、「役職」(しごと)というように使われるようになった。

【識】 “言葉”のもつ意味をはっきりとさせる”が本義。

【織】 “しるしのつけられた糸”という意味の字で“布をおる”こと。